



研究部だより

令和7年8月28日発行

第2号

担当：梅沢

約1ヶ月の長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。まだまだ暑い日が続きますので、体調管理をしながら学習に取り組んでいきましょう！今号は小学部低ブロックと高等部2学年の取り組みを紹介します。

ICT を活用した授業実践②

高等部2年生 生活単元学習 題材名「 私たちと社会① 」

授業者 加藤

対象生徒の様子

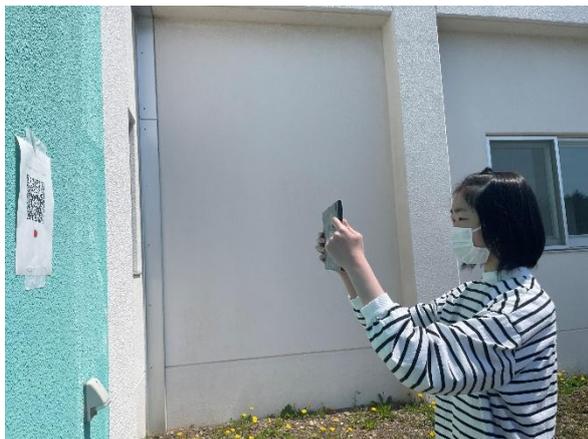
- ・かな入力で好きなワードを検索し、休み時間にはYouTubeで動画を視聴している生徒が多い。また、カメラの機能や検索機能も時間は掛かるが使用することができる。

ICT活用の意図

- ・基本的な操作を知るために、タイピング練習や検索方法、写真のコピー&ペーストの方法を学習した。
- ・インターネットトラブルに巻き込まれないように、インターネットの危険性について学習した。その後、ウイルスQRコードを読み取らないように正しいQRコードを読み取る学習をタブレット端末を活用して行った。

ICT活用の成果

- ・タイピング練習や検索方法、写真のコピー&ペーストの方法を学習したことで、一人で検索を行えるようになったり、休み時間にコピー&ペーストを活用したりする場面が見られた。
- ・ウイルスQRコードにだまされないようにQRコードスタンプラリーを読み取る活動を行ったことで「このQRコードは読み取ったらだめだ！」と友達と話し合いながら活動する様子が見られた。



授業者 坂根・鈴木

対象児童の様子

- ・タブレット端末に関心が強く、手が届く場所に置いておくと触ってしまったり、教師が操作している様子を見るとのぞき込んだりする様子が見られる。
- ・家庭で動画視聴をしている児童が多く、タップやスワイプなどタブレット端末の簡単な操作をすることには慣れている。

ICT活用の意図

- ・音声言語で話すことが難しい児童が、朝の会の司会をするときに友達の呼名をできるようにするためにICTを活用した。
- ・児童同士の関わりが少ないため、友達を呼んだり友達からの働き掛けに応じたりすること、その方法を理解してツールを活用することを意図した。

ICT活用の成果

- ・それまで教師の言動に注目していた児童が、友達の動きや返事に対しても注目したり応じたりするようになった。
- ・児童の役割が増え、より主体的に取り組める学習内容になった。
- ・自分から準備をしたり開始時間の前に座ったりなど、朝の会に意欲的に参加するようになった。



呼名したい児童をタップする。



児童の顔をタップすると、名前が音声言語で流れる。(担任が録音したもの)
返事をしたら右のイラストをタップし、元の画面に戻る。